

すくすく

NO. 49 平成24年10月1日 発行



ポリオワクチンのこと

金原 洋治

9月から生ワクチンから不活化ワクチンに代わりました。11月からは、ポリオワクチンを受けていない子どもには、DPT+ポリオの4種混合ワクチンの接種が始まります。今回はポリオワクチンについての特集にしました。

私とポリオ

私は愛媛県津島町（現宇和島市）の農家の次男坊として生を受けました。生後10ヶ月頃、微熱が出た後ハイハイの仕方がおかしいことに家族が気づき病院受診後ポリオによる麻痺だと診断されたようです。母は、藁をもすがる思いでいろいろな病院や治療院に何時間もかけて通ったようですが、左脚に麻痺が残りました。小学校入学前、手術のため整形外科に入園し併設していた養護学校にも10ヶ月通いました。左脚に軽度の麻痺が残る6級の身体障害者手帳を持っています。幼児期は、よくしゃべるからでしょうか、「べんごち（弁護士）なる」と言っていたようにでしたが、小学校時代は医者になるという言葉になつたようです。高校生時代は理数科が苦手なので一時は医師になることを諦めかけた時期もありましたが、1年浪人してなんとか山口大学医学部に入学できました。大学卒業時、小児科と整形外科

の選択を迷ったあげく小児科に決めました。済生会下関総合病院で新生児医療を専門領域としていたため、多くの障害がある子ども達との出会いがあり障害児医療に足を踏み出しました。意図して進路を決めたことは一度もありませんでしたが、ポリオが私の進路を決めてくれたような気がします。神様のお導きなのでしょう。

日本に生ワクチン導入とその効果

昭和20年代半ばからポリオの流行が続き、発病者は毎年2000〜3000人になり、昭和30年には5000人に達していました。当時は、アメリカやソ連ではポリオワクチンが開発され、接種が行われた効果が確認されていました。日本でも母親達が先頭にたつて運動を始め、医師や労働組合（総評）などが中心となった国民運動を展開しました。昭和31年6月、当時の古井厚生大臣の英断で、ソ連から開発間もない生ワクチンを緊急輸入し、1500万人に投与を開始、数年でポリオ発症者は激減し、後に日本では完全に制圧されました。

生ワクチンから不活化ワクチンに移

日本では長い間、安全で有効性が高く、接種が容易な生ワクチンを接種してきましたが、先進国の多くは、不活性化ワクチンの開発を勧め、接種が行われるようになりました。この数十年間日本では、自然株

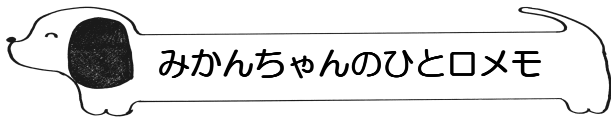
のポリオ発症者の報告はありませんが、生ワクチンの副反応によるポリオ発症者が50万人〜200万人接種に1人発症することがわかってきました。国は、不活化ポリオワクチンの導入の準備を進め、今年の9月から不活化ポリオワクチンに変更しました。

9月から不活化ポリオワクチンの接種が始まっています

生ポリオワクチン接種を2回受けていない生後3ヶ月から70ヶ月の子ども、すなわち、ポリオワクチン接種を全く受けていない子どもと、1回しか受けていないが対象です。現在は、十分にワクチンが供給されていないので、予約の電話をされても接種まで時間がかかる方もおられますが、1年間ですべての対象の子どもに接種できるように供給されますのでご安心下さい。

11月からDPT+ポリオ・4種混合ワクチン接種が始まります

11月からは、DPT+ポリオの4種混合ワクチンの接種が始まります。生後3ヶ月以降のDPTとポリオワクチンの接種を受けていない子どもが対象です。予約制ですので受付までご連絡下さい。1ヶ月健診や2ヶ月でヒブワクチンや肺炎球菌ワクチンの接種を受けにこられた際に、沢山あるワクチン接種のスケジュールを立てます。詳細は、受付、医師、看護師にご相談下さい。



みかんちゃんのひとロメモ

園児のアレルギー除去食について

食物アレルギーのため園での除去食を希望される方は「園児のアレルギー除去食に関する診断書」と、必要があれば「アレルギー食品の摂取指導票」を園に提出してください。

かかりつけ医の診断にもとづいて、除去食を提供します。

入園時と年度ごとに継続するかどうかの見直しをしてもらい書類を出しましょう。

尚、アナフィラキシーがある場合は特別な対応が必要です。追加の書類を出して、いざという時の対応について園の先生と確認しましょう。

誤食の事故も時々起きています。子ども達にはおいしい給食を楽しく安心して食べてほしいですね。

不活化ポリオワクチンの予約を受け付けています

平成24年9月から生ポリオワクチンが不活化ポリオワクチンに移行しました。

対象： 生後3ヶ月～90ヶ月未満（7歳6ヶ月未満）

初回1～3回を未接種の方

（追加接種は来年からの予定）

窓口、またはお電話で予約してください。

接種のスケジュールは予約の時に確認します。

*11月からは4種混合ワクチン（三種混合ワクチン＋不活化ポリオワクチン）が始まる予定です。

11月以降に3ヶ月を迎えるお子様は、こちらのワクチンを進めていくことになります。



院長不在のお知らせ

学会、講演や会議のため下記のとおり不在です。

10月 2日（火） 14:00～14:30

10月23日（火） 14:00～16:00

年末年始のお休み

12月29日（土）～ 1月3日（木）

夜間急病診療所のご案内

夜間の急病時には夜間急病診療所をご利用下さい。

場 所 下関市大学町2丁目（市大近く）

診療時間 19時～23時 電話番号 252-3789

編集後記

夏も台風とともに過ぎ去り、朝晩涼しい季節となりました。季節の変わり目に体調も崩しがちになりますが、日常生活でこまめに身体を動かし、運動習慣をつけられるといいですね。さらに、「元気は食から」おいしい新米や秋の旬のものも楽しみですね。のりのり

インフルエンザ予防接種の予約を始めます

インフルエンザ予防接種は予約制ですので、お電話または直接受付窓口にてお申込みください。

予約開始 10月1日（月）～

定員になり次第終了

接種開始 10月15日（月）～

	接種回数	1回の費用
1～3歳未満	2回	2,000円
3歳～小3生	2回	3,000円
小4～	1回	3,000円

原則として、市内在住の1歳以上のお子さんのみとなります。2回目のご予約は1回目の接種が終わってから受け付けます。中学生以下の方は母子手帳を必ずお持ちください。小学生以上の方や、保護者の仕事の都合で平日の来院が難しい方を対象に、土曜日の午後（以下の2回のみ）に接種時間を設けています。

ぜひご利用ください。

土曜日の接種日	11月17日（土）14:00～16:00
	12月 8日（土）14:00～15:00



おすすめの絵本

『まあちゃんのながいかみ』

たかどの ほうこ 作

おかつぱ頭の女の子、まあちゃん。

もし、自分の髪の毛をのばすならとっても長くのばそうと思えます。そして、長いおさを編んで釣りざお代わりに魚つりをしてみたり、投げ輪代わりにして牧場の牛をつかまえてみたり……。お友達と話しているうちに、まあちゃんの楽しい空想はどんどん膨らみます。

かわいい挿絵を見ながら、ぜひ子どもさんと夢のあふれる楽しいお話を読んでみませんか。



栄養相談日

栄養士が担当します。子どもさんの栄養に関する何でも相談してください。

時間 14時～16時

10月10日（水）	11月14日（水）	12月12日（水）
10月17日（水）	11月21日（水）	12月19日（水）
10月31日（水）	11月27日（水）	12月25日（水）

お申込みは受付までどうぞ。

発行人	かねはら小児科 金原 洋治
	山口県下関市生野町2-28-20
	083-252-2112
	HPURL http://members.jcom.ne.jp/28149681/